

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 24 日作成)

小委員会名	土地利用計画小委員会	主 査 名：浦山益郎 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小林英嗣
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国および欧米の都市マスタープラン改訂に係る将来都市構造図などの分析を通じて、非成長時代に期待されるアーバンフォームを検討する。 ・都市計画区域外を含めた地域全域の土地利用管理する手法として、景観法など関連制度の可能性を探る。 ・集約的土地利用を実現するための手法や事例を収集、分析する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
設置 WG (WG 名：目的)	地方都市の都市形成WG： 地方都市を対象に、非成長時代における都市構造（アーバンフォーム）およびまちなか再生など集約型の都市づくりのあり方を検討する。	
2010 年度予算	215,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (6/18、8/27、11/15)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 富山市におけるコンパクトシティの実践見学会 参加者数 31 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 前年度に引き続き非成長時代に期待されるアーバンフォームおよび土地利用計画のマネジメントを検討する視点を討論した。 2. 上記の視点による研究成果を小委員会および OS で報告討議した。 3. 集約型都市構造をモデル的に計画・実現している富山市を見学し、討論した。 以上のことから本年度の活動計画はおおむね達成できたと評価する。
委員会活動の問題点・課題	1. 建築社会システム委員会住ストック小委員会と共同で大会時のオーガナイズド・セッションを企画したが、問題意識の共有や連絡方法の問題から投稿があまり多くなく、連携のあり方に課題が残った。 2. 集約的土地利用を実現するための手法や事例を収集、分析に注力したい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。